

## 第5学年2組 外国語科学習指導案

場 所：5年2組教室

指導者：HRT 山口 大河

ALT 泉 容子

- 1 単元名 He can bake bread well. (NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 4)  
～身近な人を紹介しよう！～

### 2 単元とその指導

#### (1) 単元について

本単元では、NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 4 をもとにして、「できること」をテーマにした活動を行う。自分や身近な人のできることやできないことを伝え合う活動を通して、今まで知らなかった友達のできることを知ったり、友達のできることを紹介したりすることを主なねらいとする。また、友達に紹介してもらうことで、友達に認められたという自尊感情の高まりが期待できる。

さらに、本単元では“he / she”という三人称の表現を初めて扱う。これまでは一人称や二人称で思いを伝え合う活動をしてきたが、三人称の表現が加わることで友達や身近な人の情報を伝えることができるようになる。友達や身近な人のできることを聞く活動や伝え合う活動を通して、友達の新たな一面を知ることのよさや自己肯定感の高まりを感じることができる単元である。「できること、できないこと」や、“he / she”を使った表現を使いながら、3学期の単元である「Unit 8 Who is your hero? ヒーローをしょうかいしよう」へ関連させていく。

#### (2) 児童について

本学級の児童は、事前に行った実態調査から、32名中31名が「外国語の学習は好き」、「どちらかといえば好き」と答えている。好きな理由としては32名中27名が「外国語を使って友達と伝え合う活動が楽しい」と答えており、英語を使って友達や先生ともっと話したいと感じている児童が多い。また日々の学習の振り返りから、外国語の学習を通して友達の意外な一面を知ることができたり、友達から“Good!” “Nice!”などの反応をしてもらったりすることが嬉しいと感じている児童が多い。その一方で、「学級の中で自分は頼りにされている」、「役に立っている」と感じたことがあると答えた児童は32名中19名で、この結果から自己存在感や自己肯定感が低い児童が半数以上いることが分かる。また、普段の学校生活を見ていて、休み時間などには固定化されたグループで過ごす児童が多いという実態もある。これらのことから、外国語の学習では他者との関わりを積極的にできているが、外国語の授業以外の学校生活においては固定化された人間関係にとどまっていると言える。外国語の学習における言語活動をきっかけに、固定化された友達関係だけではなく様々な友達と関わることの楽しさや友達の新たな一面を知ることのよさ、友達から認めてもらうことの喜びを感じてほしい。

#### (3) 指導について

指導に当たっては、友達のできることやできないことを紹介する表現を繰り返し練習して覚えるのではなく、教師やALTのまねをしたり、英語を使ったゲームや友達とのやり取りをしたりすることを通して、自然と英語表現に慣れ親しみ、使える英語表現が少しずつ増えるような授業を仕組んできた。外国語を使って友達や先生と伝え合う活動が楽しいという児童の意欲を生かし、教師や友達とのやり取りの場を設定し、言語活動を通して“can/ can't～”などの表現が使えるようにしていく。また、クイズなどで立花小の教師を登場させることで、内容に関心を持ちながら、具体的な内容を捉えて聞くことができるようにする。本時では、自分のできることを友達に紹介してもらい、その紹介を聞いた他の友達からの質問に答える活動を行う。友達のできることを紹介したり、自分のできることを友達から紹介してもらったりする活動を通して自己肯定感を高めながら思考し、表現する力を育成する。児童の言語活動に対する意欲の高さを生かし、やり取りしながら使える表現が増えていくような授業を展開していきたい。

### 3 単元の目標

“I can ～.” や“Can you ～?” の英語表現を使って、友達や身近な人にできること、できないことを尋ね、内容を聞きとったり、お互いのできること、できないことを伝え合ったりできる。さらに、友達や身近な人のできること、できないことをよく知るために、既習表現の “What ～ do you like?” や “Do you like ～?” などの基本的な表現を用いて、気になる情報を質問することができる。

### 4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“I can ～.”、“Can you ～?” 及びその関連語句などの表現について理解している。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや友達のこと、紹介する人の「できること・できないこと」について聞き取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や紹介される人のことをよく知るために、「できること、できないこと」について話している内容を聞いて、その具体的な情報を聞き取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や紹介される人のことをよく知るために、「できること、できないこと」について話している内容を聞いて、その具体的な情報を聞き取ろうとしている。</li> </ul>
話すこと(やりとり)	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや友達のこと、紹介する人の「できること、できないこと」“I can ～.”、“Can you ～?” の言い方について理解している。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや友達のこと、紹介する人の「できること・できないこと」について伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや友達のこと、紹介する人のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、お互いの「できること、できないこと」について伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや友達のこと、紹介する人のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、お互いの「できること、できないこと」について伝え合おうとしている。</li> </ul>

### 5 単元指導計画（全8時間）

時	活動名 (◇) 目標 (◆) 活動内容 (○)	評価			
		知	思	主	評価規準 (評価方法)
1	<p>◇ 先生のできることを予想しよう！</p> <p>◆ 先生のできることを予想する活動を通して、“can/can’t”、“Can you～?”の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ イン트로ダクション HRT やALT の会話を聞いて、先生のできることやできないことを予想する活動を行う。</p> <p>○ 【Can you swim fast?】 Let’s chant p.39 【She can sing well.】 Let’s chant p.39 曲を聞いて歌えるところを歌う。</p> <p>○ 【Starting Out】 p.38,39</p> <p>○ キーワードゲーム 動作の単語を聞いたり言ったりする。</p> <p>○ 単元のゴールを決める 先生クイズを作ろう！という単元のゴールを決め、単元最後の活動への見通しを持つ。</p>				<p>単元の前半では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
	<p>◇ 友達のできることを予想して、尋ねよう！</p> <p>◆ 友達のできることを予想する活動を通して、“Can you～?” “Yes, I can. / No, I can’t.”の表現を理解する。</p>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Small Talk : 好きなスポーツ</li> <li>○ 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 【She can sing well.】 Let's chant p.39</li> <li>○ 【Let's Try②】 p.40 教科書の問題</li> <li>○ キーワードゲーム スポーツや楽器の単語を聞いたり言ったりする。</li> <li>○ Let's Try 友達のできることを知るためのやりとりを行う。</li> </ul>				<p>単元の前半では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 友達のできることを知るために、インタビューしよう！</li> <li>◆ 友達のできることを予想し、“Can you～?”の表現を使って尋ねることができる。 自分のできることやできないことを“Yes, I can. / No, I can't.”の表現を使って答えることができる。</li> <li>○ 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 【She can sing well.】 Let's chant p.39</li> <li>○ キーワードゲーム スポーツや楽器の単語を聞いたり言ったりする。</li> <li>○ Let's Try 友達のできることを知るためのやりとりを行う。</li> <li>○ 先生クイズ! ヒントを手掛かりにどの先生かを当てる。</li> </ul>	や	や		<ul style="list-style-type: none"> <li>・“Yes, I can. / No, I can't.” “Can you ～?”の使い方を理解し、友達のできることについて伝え合う技能を身に付けている。 (ワークシート・振り返りカード点検)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ クイズ! この先生は誰でしょう!?</li> <li>◆ 先生クイズを通して、This is～. He / She の表現や人を紹介するときの表現を理解する。</li> <li>○ Small Talk : みんなのできること</li> <li>○ 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 【She can sing well.】 Let's chant p.39</li> <li>○ 先生クイズ!</li> <li>○ キーワードゲーム</li> <li>○ 次時の活動を見通す</li> </ul>	聞	聞		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の「できること・できないこと」について聞き取る技能を身に付けている。また、聞き取ろうとしている。 (行動観察・振り返りカード点検)</li> </ul>
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 友達のことを知ってもらうために、友達のできることを紹介しよう!</li> <li>◆ This is～. He / She can/can't ～.の表現を使って友達を紹介することができる。 What～do you like? Do you like ～? Can you～?の表現を使って質問することができる。</li> <li>○ 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 【She can sing well.】 Let's chant p.39</li> <li>○ Small Talk : 先生のできること</li> <li>○ 先生クイズ!</li> <li>○ Let's Try 友達のできることを知るためのやりとりを行う。</li> </ul>		や		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のことをよく知るために、「できること、できないこと」について質問し、その具体的な情報を聞き取っている。 (ワークシート・振り返りカード点検)</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 友達のことを知ってもらうために、友達のできることを紹介しよう!</li> <li>◆ “This is～.” “He / She can/can't ～.”の表現を使って友達を紹介することができる。 “What～do you like?” “Do you like ～?” “Can you～?”の表現を使って質問することができる。</li> </ul>				

	<input type="radio"/> 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 【She can sing well.】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 先生クイズ！ <input type="radio"/> Let's Try 友達のできることを知るためのやりとりを行う。			や	・友達のことをよく知るために、「できること、できないこと」について質問し、その具体的な情報を聞き取っている。 (ワークシート・振り返りカード点検)
7	<input type="checkbox"/> ◇ 先生のできることを知るために、先生にインタビューしよう！ <input type="checkbox"/> ◆ 先生のできることを予想し、Can you～?の表現を使って尋ねることができる。 <input type="radio"/> 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 【She can sing well.】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 先生クイズ！ <input type="radio"/> Let's Try 先生のできることを予想しインタビューする。			聞 聞	・紹介する先生のことをよく知るために、「できること、できないこと」について話している内容を聞いて、その具体的な情報を聞き取ったり、聞き取ろうとしたりしている。 (ワークシート・振り返りカード点検)
8	<input type="checkbox"/> ◇ いろいろな先生のことをもっと知るために、先生クイズをしよう！ <input type="checkbox"/> ◆ This is～. He / She can/can'tの表現を使って先生クイズを出題することができる。 <input type="radio"/> 【Can you swim fast?】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 【She can sing well.】 Let's chant p.39 <input type="radio"/> 先生クイズ！ <input type="radio"/> Let's Try 先生のできることを知るためのやりとりを行う。			や や	・紹介する先生のことをよく知ってもらうために「できること、できないこと」について伝え合ったり、伝え合おうとしたりしている。 (行動観察・振り返りカード点検)

## 6 言語材料

- 表現 Can you～? Yes, I can. / No, I can't. I / You / He / She can/ can't～.  
Who is this? This is～. He / She is～. What～do you like? Do you like ～?
- 語彙 (動作) sing, run, dance, speak, write, draw, like, jump, ski, swim, cook, play, make, eat  
(楽器) guitar, piano, drums, recorder, violin,  
(スポーツ) basketball, soccer, baseball, volleyball, tennis, table tennis, badminton,

## 7 本時の指導 (5/8)

- (1) 目標  
友達の紹介を聞いて、内容に合わせたコメントを言ったり、質問したりすることができる。
- (2) 評価規準  
友達や身近な人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。【思考・判断・表現】

(3) 展開

時配	過程	児童の活動	教師の働き掛け (○)、評価 (◎) Bを満たない児童への手立て (※)		準備 ICT (☆)
			HRT	ALT	
5	導入   展開   まとめ	1 先生たちの話を聞いたり、質問に答えたりする。	○ 先生のできることに話し、児童のできることに質問する。	○ HRT や児童とスモールトークをする。	☆ 電 子 黒 板
6		2 先生クイズに答える。	○ 児童と一緒に考える。	○ クイズを出す。	
2		3 本時のめあてを確認する。	Today's goal 友達のことを知ってもらうために、友達のできることを紹介しよう！		
3		4 前時の活動を振り返り、本時の活動を見通す。	○ 前時の活動を振り返り、反応や質問の仕方を確認する。	○ 反応や質問の仕方を確認する。	
22		5 友達紹介クイズを出し合う。	<p>(予想される児童のやりとり)</p> <p>A : Hello! This is B-san. She can make cake. She can't eat umeboshi. She can play table tennis!</p> <p>C : Oh! Nice!</p> <p>B : Any questions?</p> <p>C : Do you like Ito Mima?</p> <p>B : Yes I do! I like Ito Mima.</p> <p>C : Me too!</p> <p>D : Can you make cookies?</p> <p>B : Yes, I can.</p> <p>D : Oh! Nice!</p> <p>C・D : Good!! Thank you!!</p> <p>A・B : Thank you!! Bye!</p>		
		○ 中間評価 (中間指導) を適宜行う。	○ 中間評価 (中間指導) を適宜行う。		
		中間評価 (中間指導) の視点 ・ 相手が聞き取りやすいように工夫をしながら紹介できているか。 ・ 質問する側が内容を聞き取り、質問できているか。			
		○ 中間評価 (中間指導) 後活動を再開し、次の活動を見取る。	○ 中間評価 (中間指導) 後活動を再開し、次の活動を見取る。		
		◎評価【思考・判断・表現】(観察) A : 友達の紹介を聞き、聞きとった内容について反応したり、内容に関連した質問をしたりしている。 B : 友達の紹介を聞き、聞きとった内容について反応したり、質問したりしている。 ※ うなずいたり相槌をうったりすることから始め、Good! Nice! などの簡単な反応につなげていくように声を掛ける。			
7	6 振り返りをする。	○ 振り返りを記入させ、数人に発表させる。	○ 児童の活動についてコメントする。		

